



2022年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年4月8日

上場会社名 三光合成株式会社
 コード番号 7888 URL <http://www.sankogosei.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 2022年4月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 黒田 健宗
 (氏名) 芹川 明
 TEL 0763-52-7105

(百万円未満切捨て)

1. 2022年5月期第3四半期の連結業績(2021年6月1日～2022年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期第3四半期	45,489	13.3	1,177	△36.3	974	△38.2	714	△20.5
2021年5月期第3四半期	40,149	△3.3	1,848	189.8	1,576	542.0	899	965.4

(注) 包括利益 2022年5月期第3四半期 1,075百万円 (△23.9%) 2021年5月期第3四半期 1,412百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年5月期第3四半期	23.44	—
2021年5月期第3四半期	29.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年5月期第3四半期	57,458	21,298	36.4	685.54
2021年5月期	56,633	20,649	35.8	665.56

(参考) 自己資本 2022年5月期第3四半期 20,897百万円 2021年5月期 20,289百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年5月期	—	4.00	—	7.00	11.00
2022年5月期	—	7.00	—	—	—
2022年5月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年5月期の連結業績予想(2021年6月1日～2022年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	8.8	2,900	20.3	2,700	38.4	1,800	38.2	59.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年5月期3Q	30,688,569 株	2021年5月期	30,688,569 株
② 期末自己株式数	2022年5月期3Q	204,749 株	2021年5月期	204,696 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年5月期3Q	30,483,843 株	2021年5月期3Q	30,483,932 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新たな変異株による新型コロナウイルス感染症再拡大の影響により、社会・経済活動が制限され、厳しい状況となっております。海外におきましても、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済への影響や新たな変異株による感染拡大が懸念されるなど、先行きは依然不透明な状況が続いております。

この様な状況のもと、当社グループにおきましても、前連結会計年度に引き続き、付加価値の高い製品の受注と生産体制の整備を強化し、原価低減活動を積極的に進めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は45,489百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益は1,177百万円（前年同期比36.3%減）、経常利益は974百万円（前年同期比38.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は714百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

① 日本

半導体不足等による自動車メーカーの減産の影響もあり車両用内外装部品が減収となり、売上高は17,121百万円（前年同期比2.5%減）、セグメント利益は金型の利益改善等もあり1,256百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

② 欧州

車両用内外装部品及び金型の減収により、売上高は3,948百万円（前年同期比18.7%減）、SANKO GOSEI Czech, s. r. o. 新工場に係る操業前準備費用も嵩み、セグメント損失は220百万円（前年同期はセグメント利益499百万円）となりました。

③ アジア

タイ、インドネシア及びインドでの車両用内外装部品の増収もあり、売上高は18,404百万円（前年同期比48.2%増）となり、セグメント利益は671百万円（前年同期比77.9%増）となりました。

④ 北米

車両用内外装部品及び金型の増収により、売上高は6,015百万円（前年同期比13.3%増）となり、セグメント利益は労務費の増加による影響等もあり181百万円（前年同期比36.5%減）となりました。

なお、部門別の売上の状況は、次のとおりであります。

部門別		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)	
		売上高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
成形品	情報・通信機器	4,826	12.5
	車両	27,031	11.4
	家電その他	4,279	44.9
成形品計		36,138	14.7
金型		9,351	8.1
合計		45,489	13.3

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、57,458百万円（前連結会計年度末比824百万円増）となりました。これは、棚卸資産が647百万円及び有形固定資産が464百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、36,159百万円（前連結会計年度末比175百万円増）となりました。これは、短期借入金が506百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が330百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、21,298百万円（前連結会計年度末比649百万円増）となりました。これは、利益剰余金が287百万円及び為替換算調整勘定が274百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2021年7月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,079	7,513
受取手形及び売掛金	13,814	13,384
商品及び製品	1,716	2,519
仕掛品	4,096	3,613
原材料及び貯蔵品	1,102	1,430
その他	1,648	2,380
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	30,457	30,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,137	7,834
機械装置及び運搬具(純額)	8,728	8,906
工具、器具及び備品(純額)	1,510	1,862
土地	5,139	4,881
建設仮勘定	1,637	2,132
有形固定資産合計	25,152	25,617
無形固定資産		
のれん	123	106
その他	374	365
無形固定資産合計	497	471
投資その他の資産		
投資有価証券	18	18
その他	507	509
投資その他の資産合計	525	528
固定資産合計	26,176	26,617
資産合計	56,633	57,458

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,398	7,068
電子記録債務	2,589	2,481
短期借入金	5,820	6,327
1年内返済予定の長期借入金	1,984	1,859
1年内償還予定の社債	75	—
未払法人税等	447	241
賞与引当金	176	120
役員賞与引当金	44	—
その他	4,946	5,173
流動負債合計	23,481	23,272
固定負債		
長期借入金	7,577	7,930
役員退職慰労引当金	23	18
退職給付に係る負債	865	827
その他	4,035	4,109
固定負債合計	12,501	12,886
負債合計	35,983	36,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,008	4,008
資本剰余金	4,071	4,071
利益剰余金	13,344	13,632
自己株式	△43	△43
株主資本合計	21,381	21,669
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	△3
退職給付に係る調整累計額	△278	△230
為替換算調整勘定	△810	△536
その他の包括利益累計額合計	△1,092	△771
非支配株主持分	360	401
純資産合計	20,649	21,298
負債純資産合計	56,633	57,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)
売上高	40,149	45,489
売上原価	33,755	39,265
売上総利益	6,393	6,224
販売費及び一般管理費	4,545	5,047
営業利益	1,848	1,177
営業外収益		
受取利息及び配当金	15	25
受取賃貸料	50	49
雇用調整助成金	111	27
その他	39	85
営業外収益合計	217	187
営業外費用		
支払利息	284	303
為替差損	91	14
デリバティブ損失	60	39
その他	53	32
営業外費用合計	489	390
経常利益	1,576	974
特別利益		
固定資産売却益	3	177
投資有価証券売却益	1	—
国庫補助金	85	—
特別利益合計	90	177
特別損失		
固定資産除却損	56	51
固定資産売却損	5	7
特別退職金	11	—
固定資産圧縮損	85	—
特別損失合計	159	59
税金等調整前四半期純利益	1,507	1,092
法人税等	639	344
四半期純利益	868	748
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△30	33
親会社株主に帰属する四半期純利益	899	714

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)
四半期純利益	868	748
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	496	280
退職給付に係る調整額	46	47
その他の包括利益合計	544	327
四半期包括利益	1,412	1,075
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,443	1,035
非支配株主に係る四半期包括利益	△30	39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、有償支給取引について、従来は、有償支給した支給品について棚卸資産の消滅を認識しておりましたが、当社が実質的に買戻し義務を負っていると判断される有償支給取引について、第1四半期連結会計期間より金融取引として棚卸資産を引き続き認識するとともに、有償支給先に残存する支給品の期末棚卸高について金融負債を認識しております。

なお、収益認識適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年6月1日 至 2021年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,568	4,853	12,415	5,311	40,149	-	40,149
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,370	-	859	6	3,236	△3,236	-
計	19,938	4,853	13,274	5,318	43,385	△3,236	40,149
セグメント利益又は損失(△)	1,169	499	377	285	2,333	△484	1,848

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去△29百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△454百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,121	3,948	18,404	6,015	45,489	—	45,489
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,453	0	944	3	4,402	△4,402	—
計	20,575	3,948	19,348	6,019	49,892	△4,402	45,489
セグメント利益又は損失(△)	1,256	△220	671	181	1,889	△711	1,177

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去△268百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△443百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第3四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2022年2月28日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				計
	日本	欧州	アジア	北米	
成形品事業					
情報・通信機器	3,435	—	1,390	—	4,826
車両	7,585	2,599	12,362	4,483	27,031
家電その他	1,139	177	2,921	41	4,279
成形品事業計	12,160	2,777	16,674	4,525	36,138
金型事業	4,961	1,170	1,729	1,490	9,351
顧客との契約から生じる収益	17,121	3,948	18,404	6,015	45,489
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	17,121	3,948	18,404	6,015	45,489